

畜産未利用資源の活用による低コスト細胞大量培養手法の開発

代表機関：東京大学
実施年度：2025年度～2026年度（フェーズ0）
キーワード：畜産未利用資源、培養肉、培地添加物

研究代表者：竹内昌治



畜産未利用資源から有用成分を抽出し、培養肉向けの低コスト培養液として実用化する。低コスト化並びに細胞増殖能の向上を目指し、培養肉生産の基盤技術を確立する。

背景・目的

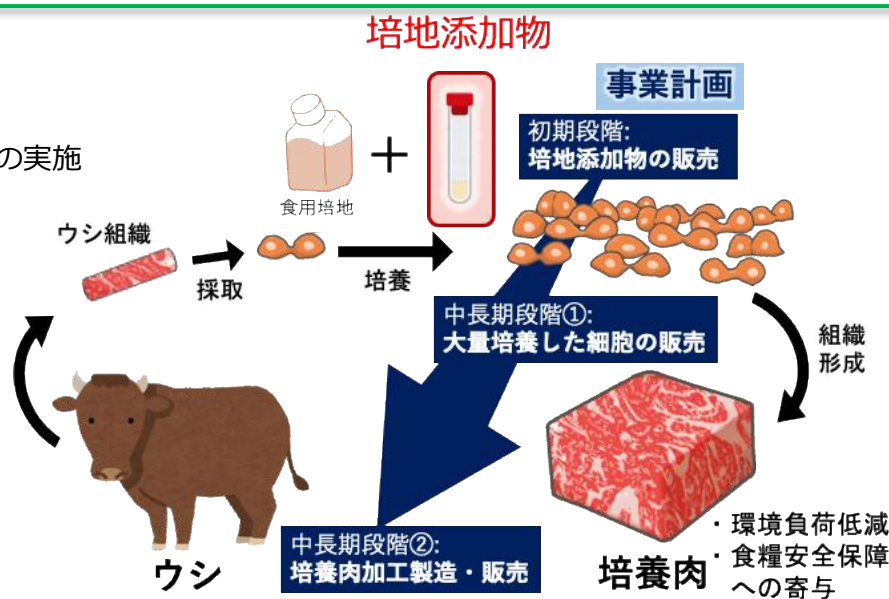
世界的な人口増加による食肉需要の拡大と畜産業の環境負荷や倫理的課題を解決するため、屠殺を伴わずに採取可能な畜産未利用資源を活用し、低コストで高性能な細胞培養液を開発し、培養肉生産技術の基盤確立を目指す。

目標

本フェーズ中に、従来の細胞培養法と比較して培養コストを削減しつつ、細胞の増殖性能を同等以上に高めることで、低コストで安定的な培養肉生産技術の実現を目指す。

研究内容

- ・有用成分の製造プロセスを検討
- ・保存安定性や品質保持手法の検討
- ・低コスト滅菌法の導入の検討
- ・初期試作品を用いた細胞培養実験の実施



<代表機関概要> 東京大学

■HP： <https://www.hybrid.t.u-tokyo.ac.jp/>

■所在地：東京都目黒区駒場4-6-1 As棟405

■連絡先： kensei_okada[アット] hybrid.t.u-tokyo.ac.jp [アット]を@に置き換えてください。 令和7年7月11日時点